

戸開走行保護装置(待機型ブレーキ式)定期検査記録表

UCMP大臣認定番号				
検査者氏名			検査実施日	
検査対象	検査内容	判定基準	検査結果記録	
1. ロープブレーキの健全性の監視状況確認	ロープブレーキの監視状況の確認	・戸開走行で正常に動作し、復旧操作以外で復旧しない ・動作状態で、行き先階登録を行っても起動しない	良	否
	ロープブレーキの健全性確認	手動操作で動作/復旧が行える	良	否
	ポンプユニット及び油圧ホースの状態	油漏れがない	良	否
2. かごつま先保護板	外観確認	過度の変形がない	良	否
	かごつま先保護板の直線部長さの測定 ※かご敷居よりエプロン直線部下端までの長さ	直線部長さが基準値以上である(注1) 基準値 mm	mm	
		良	否	
3-1. ロープブレーキ	速度1m/min、無負荷上昇時のロープブレーキによる制止距離確認	UCMP盤に貼布されたラベルの停止距離 mm 以下である	mm	
		良	否	
		UCMP盤に貼布されたラベルの年次変化量 mm 以下である	mm	
		良	否	
3-2. 特定距離感知装置	戸開きインチングを行い特定距離感知装置が正常に動作することを確認する	特定距離感知装置が型番で規定された数値内で動作する	上昇	mm
			良	否
			下降	mm
			良	否
4. ロープブレーキ ライニング(パッド)厚さ	制動状態でのパッド間隔を測定する	パッド間隙間が基準値以上である <input type="checkbox"/> ロープ公称径Φ10使用時/2.5mm <input type="checkbox"/> ロープ公称径Φ12使用時/4.5mm <input type="checkbox"/> ロープ公称径Φ16使用時/8.5mm ライニング(パッド)間隙間 mm	良	否
5. 安全制御プログラム	プログラム名称確認 ・UCMP盤貼布の対象部品記載ラベル	左記ラベルに記載されているプログラム名称と記憶素子名称(ROM名称)が同一である	良	否
6. UCMP動作	リレーリングゾーン外での戸開き走行禁止	UCMP盤内の制御プリント基板(CP38)上LED(bit0～bit7)が全点滅し、エレベータが起動禁止となる(モーター、ブレーキ励磁コイルへの通電が遮断されかごが停止する)	良	否
7. UCMP認定機器	使用機器の確認 ・UCMP盤貼布の対象部品記載ラベル	左記ラベルに記載されている機器と同一型番の製品が取付けられている	良	否
8. 電動機動力遮断用コンタクタ	電動機動力遮断用コンタクタの設置年数の確認	コンタクタの設置年数が交換基準を超えていない	良	否

『注1. エプロン長さ基準値は確認申請書又は前年度検査内容を参照の上、明記すること。』

現場名 : _____

社内登録番号 : _____